

文系研究者の研究データ 日本文学研究の場合

白水阿弥陀堂(いわき市)

人文学部・日本文学分野 渡辺匡一

研究の概要

寺院・寺社の所蔵する資料の調査・研究を行う。



中世以降（12世紀～）の学問形成
（どんな書籍を読んでいたのか）

知識の伝播・展開
（どこにどんな書籍があるのか）

関わってきた主な寺社調査

1. 善通寺（香川県善通寺市） 1989～2013
真言宗善通寺派本山←国文学研究資料館の調査
2. 宝聚院（福島県いわき市） 1999～2020
新義真言宗灌頂道場・棚倉藩の祈禱寺院
3. 佛法紹隆寺（長野県諏訪市） 2003～2020
新義真言宗灌頂道場・高島藩の祈禱寺院
4. 如来寺（福島県いわき市） 1999～2016
浄土宗名越派本山、談義所
5. 御嶽神社（長野県王滝村） 2006～2019

寺院資料とは

1. 書籍（典籍）

文学

2. 文書（書状）

歴史学

3. 絵画

美術史

4. 仏具

美術史・歴史学

※調査・研究の際には、すべての資料が対象となる。

調査方法 (1)

作品名・題名・
料紙・装幀・
数量・成立年代・
写刊・著者・
書写者・出版社・
寸法・所持者など
を目録カードにとり
(70項目)、
見直し作業の後、
CSV形式でデータ
化する。

区分	所蔵者	仏法紹隆寺	仮番号	135
作品名	元亨釈書和解	元亨釈書和解	外題(留・無)	元亨釈書
数量	1冊	1冊	内題(留・無)	元亨釈書
装訂	巻子・折帖・結葉・列帖・函・綴・仮綴・他	綴	尾題(留・無)	元亨釈書和解
料紙	烏の子・薄樺・櫻・間似合・他	烏の子	表紙(留・後)	色・樺樺など
裏紙	烏の子・薄樺・櫻・間似合・他	烏の子	裏紙(留・後)	色・樺樺など
注	見返し	見返し	本文共紙	
寸法	縦 26.5 cm 横 19.0 cm	縦 21.9 cm 横 17.1 cm	一面行数	12行 一行字数 25字
丁数	857丁(遊紙 0丁 / 0丁)	丁付(有・無)	ノドオモテ・ウラ	
本文	墨・朱	墨・朱	別筆(墨・朱)	漢・片・平
書入	墨・朱	墨・朱	漢・片・平	
所蔵者	信州大学	信州大学	所蔵者番号	
調査年月日	2004年2月12日	2008年2月9日	記録者	寺吉 真帆 加藤 夏希

区分	所蔵者	信州大学	仮番号	135
作品名	元亨釈書和解	元亨釈書和解	外題(留・無)	元亨釈書
数量	1冊	1冊	内題(留・無)	元亨釈書
装訂	巻子・折帖・結葉・列帖・函・綴・仮綴・他	綴	尾題(留・無)	元亨釈書和解
料紙	烏の子・薄樺・櫻・間似合・他	烏の子	表紙(留・後)	色・樺樺など
裏紙	烏の子・薄樺・櫻・間似合・他	烏の子	裏紙(留・後)	色・樺樺など
注	見返し	見返し	本文共紙	
寸法	縦 26.5 cm 横 19.0 cm	縦 21.9 cm 横 17.1 cm	一面行数	12行 一行字数 25字
丁数	857丁(遊紙 0丁 / 0丁)	丁付(有・無)	ノドオモテ・ウラ	
本文	墨・朱	墨・朱	別筆(墨・朱)	漢・片・平
書入	墨・朱	墨・朱	漢・片・平	
所蔵者	信州大学	信州大学	所蔵者番号	
調査年月日	2004年2月12日	2008年2月9日	記録者	寺吉 真帆 加藤 夏希

※必要に応じて、書籍の画像も蓄積する。

調査方法 (2)

仮番号	本番号	書名	書名訓	分類	外題(箋or直書)	内題	柱題	尾題	刊表紙(色等)	見返し題/扉題	料紙	装丁	数量(全巻)	版種
2		阿字秘釈	アジヒシヤク		阿字秘釈(箋・原)	阿字秘釈	阿字秘釈	阿字秘釈	刊濃黄	ナシ	楮	袋綴	3(3)	整版
3		阿字観略註	アジカンリヤクチュウ		阿字観略註(箋・原)	阿字観略註	阿字観略註	阿字観略註	刊薄黄	ナシ	楮	袋綴	1(1)	整版
4		要法授訣鈔	ヨウホウジュケツシヨウ		要法授訣鈔(箋・原)	要法授訣鈔	ナシ	要法授訣鈔	刊薄青	ナシ	楮	袋綴	2(3)	
5		標註十八史略正文	ヒョウチュウジュウハチシリヤクセイブン		標註十八史略正文(箋・原)	標柱十八史略正文	標柱十八史略正文	標柱十八史略正文	刊濃黄	標柱十八史略正文	楮	袋綴	7(7)	整版
6		即身義講筵	ソクシンギコウエン		即身義講筵(直・原)	即身義講筵	ナシ	即身義講述	写着色ナシ	ナシ	楮	袋綴	2(2)	
7		南郭先生文集	ナンカクセンセイブンシュウ		南郭先生文集(箋・原)	南郭先生文集	南郭集	南郭先生文集	刊薄茶	ナシ	楮	袋綴	14(40)	整版

成立年代	編著者(校閲者等も含む)	書写者or書肆	奥書・刊記など	書型	匡郭	一面行一行字本数	什物印	宥瑞墨印	他蔵書印	旧蔵者	その他	
江戸時代前期	頼瑠	未詳	御本記云/先年之頃依公雅法印懇請雖鈔兩卷僅以上卷奉/授法印畢其後他事無隙未及再治仍弘安四年七月下旬開草菴本加治定畢願以兩卷鈔記之功必/為三身証得之因耳/金剛仏子 頼瑠生年五十六弘安四年十二月二十賜此御鈔聊拜見之夜有夢想其/趣者或僧楚忽覽此鈔之時傍人云學尔之披覽定/無其詮歟[云/云]/又傍有耆宿僧告云縱雖不祥義理必有得益況於/思惟習乎[云/云] 忽聞此言結縁有馮信/心銘肝之間夢覺了誠是秘密之奥旨達冥慮甚/深之鈔記感靈夢歟豈不可貴矣 金剛資仙覚記/弘安五年[壬午]七月二十四日夜[丑刻]感夢云於洛/中入或亭(底本奥書)。宝曆十庚辰年十一月上求菩提下化衆生為因縁求此鈔畢/金剛仏子俊応(識語・墨書・下巻末)	26.2 × 18.3	21.1 × 1 5.5	10	20漢	文末(上)、1オ(中・下)	ナシ	ナシ	俊応・宥瑞	「俊応」(巻上表紙右下・朱書)。
宝永7(1710)・閏8	英嶽	前川茂衛門/前川権兵衛(名前上部「洛陽」)	宝永七閏八月吉旦/洛陽書林前川茂衛門/同姓権兵衛	26.4 × 18.7	16.4 × 1 4.6	12	14漢	1オ右下	ナシ	宥瑞		
江戸後期	隆營	未詳	ナシ	24.0 × 17.0	ナシ	10	18漢	ナシ	ナシ	鋭心・宥中	巻中・下。「鋭心」(墨書・表紙右下)。「附属/宥中」(表紙右下・朱書)	
明治10(1877)・11・15	渡井量蔵	内藤伝右衛門	版權免許明治九年九月十三日/出板明治十年十一月十五日/標註者山梨県平民/渡井量蔵/山梨県第一区若松町八十二番表七十二番地/出版人同/内藤伝右衛門/山梨県第一区常盤町四番地/売弘同支店/東京第一大区小石町十軒店五番地	25.9 × 18.2	18.8 × 1 3.8	11	18漢	ナシ	ナシ	松橋/宥実(朱印・外題下)	宥実	

調査方法（3）

データを計量化し、分析を重ねていくことで、「知の動態」を可視化することを目指す。

■ 元のCSVデータ

→オープンデータの対象

※目録の取り方にもアイデアはあるのだが・・・

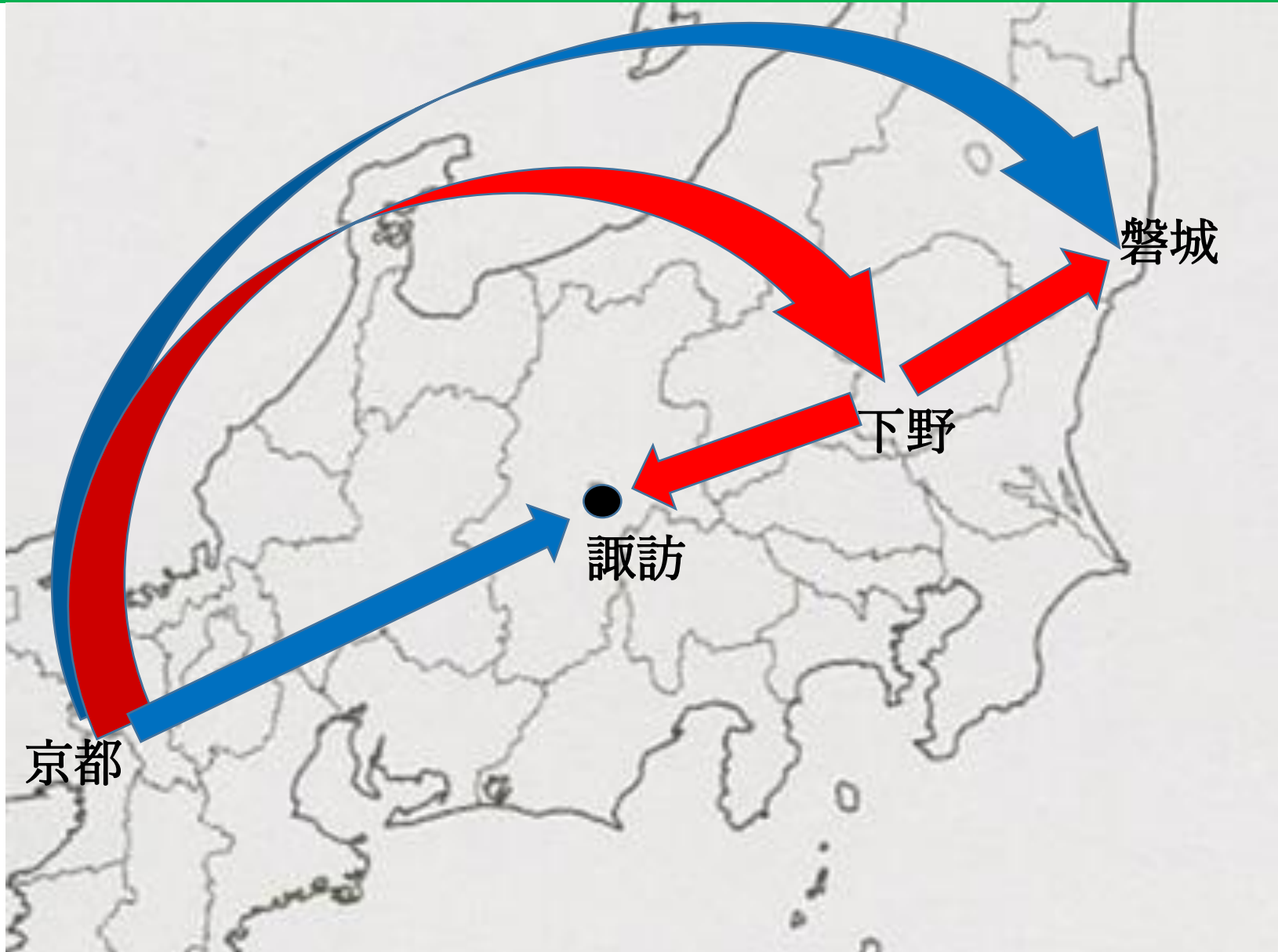
■ アイデアに基づく分析結果のデータ

→オープンデータの対象とはしにくい

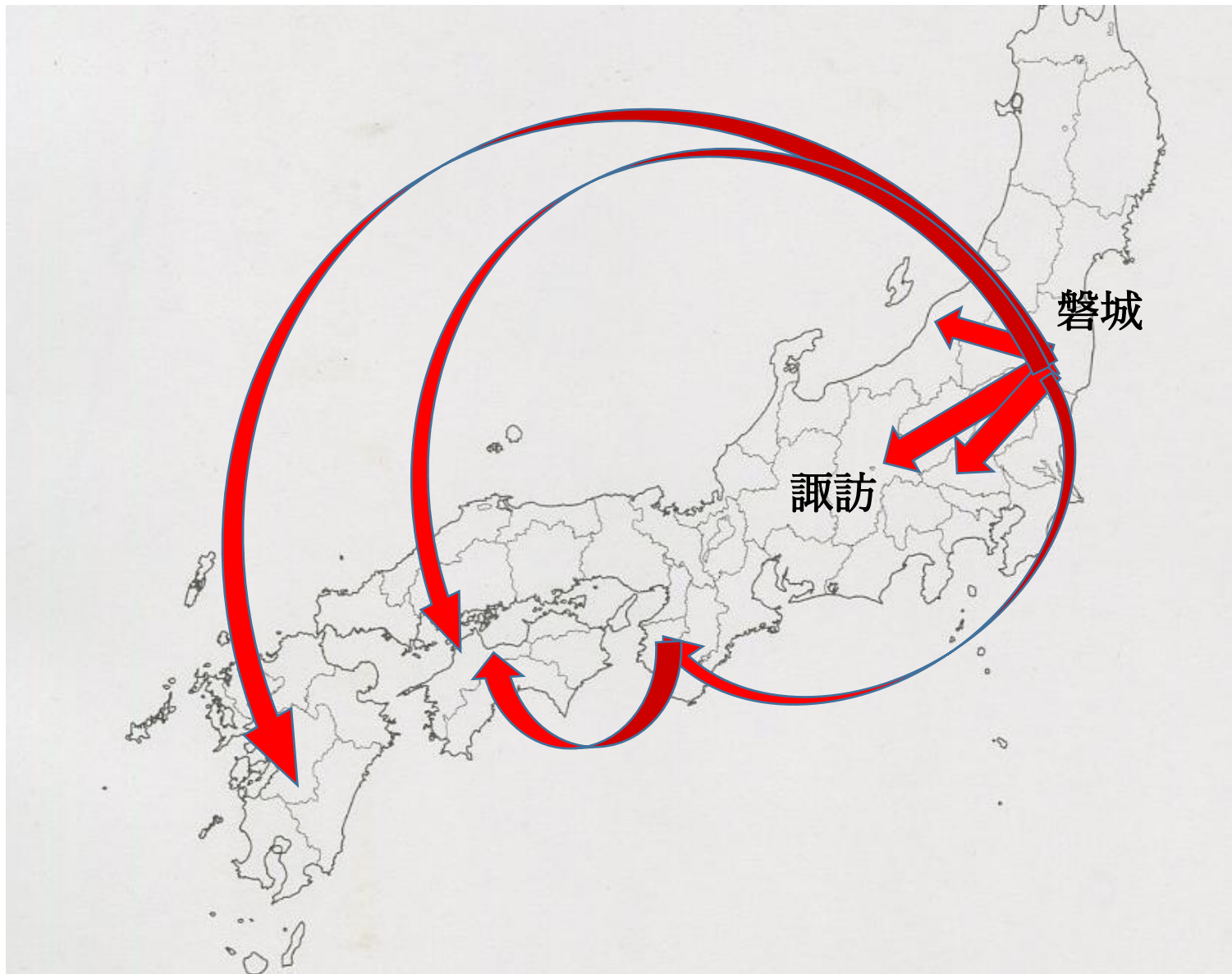
例えば・・・

1. 奥書から見られる本の動き、人の動きを組み合わせる
写本の場合：奥書にはいつどこで写したかの情報が見られる
2. 奥本の署名や蔵書印から見られる蔵書形成と宗教政策

16世紀の知識伝播（真言宗）



書籍の移動（知識の広まり）



研究データの公開に向けて

- 研究が発展していくためには、情報の共有化が必要
 - メタデータのオープン化（目録のCSVデータの公開）
 - 本文のオープン化→歴史的典籍NW事業（国文学研究資料館）
- データの単位（粒度）、データの精度についても留意が必要
- 公開の時期やレベル、範囲については、研究成果の状況に関わることに留意すべき
- 情報の公開のためには、所蔵者の理解が必要
 - 閲覧希望者への対応が難しい。
 - 佛法紹隆寺では、HPで目録情報を開示する予定（2020年）